



株式会社東京臨床薬理研究所 (TRCP)

花粉症調査研究施設 (OHIO Chamber)



OHIO Chamberは、東京臨床薬理研究所グループの医療法人社団信濃会左門町クリニック内に設置されています。

試験室内にスギやひのきのなどの花粉を散布し、花粉濃度やその均一性をモニタリングしながら天候や季節に左右されずに客観的に試験を実施できる世界最高レベルの施設です。

オハイオチェインバーの開設が、スギ花粉症を始めとするアレルギー性疾患の研究発展や診断・治療向上の一助となり、増加するアレルギー疾患対策のお役に立てばと考えております。

<設置年月日>

2005年10月

<所在地>

東京都新宿区左門町20番地 四谷メディカルビル6F

<受賞歴>

2010年 社団法人建築設備技術者協会「環境技術優秀賞」



OHIO Chamberの性能

TARC

OHIO Chamber 性能

| 項目 | | 設計条件 |
|--------------|----|---------------------------------------|
| 温湿度条件 | | 温度：22±2℃、湿度：40～55 % |
| 抗原個数濃度（スギ花粉） | | 2,500～4,500±500個/m ³ （無人時） |
| 制御空間範囲 | 平面 | 部屋中心より半径1.0m～1.8m |
| | 立面 | 床上より1.0m～1.3m |
| 洗浄 | | 洗浄時間：1.5分間（純水自動洗浄） |
| 乾燥 | | 乾燥時間：3時間 |
| TVOC濃度 | | 周囲室の1/2以下 |

OHIO Chamber 研究者のご紹介

TARC



Chamberの開発に際し専門的立場よりご指導いただいた アドバイザーボードメンバーの先生方

○ kubo Kimihiro

H ashiguchi Kazuhiro

I shikawa Takeru

○ kuda Minoru



日本医科大学付属病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
教授
NPO花粉症・鼻副鼻腔炎
治療推進会
理事長
大久保 公裕 先生



医療法人社団左門ふたば会
ふたばクリニック
院長
NPO花粉症・鼻副鼻腔炎
治療推進会
理事
橋口 一弘 先生



熊本大学
名誉教授
(故)石川 喙 先生



日本医科大学
名誉教授
(故)奥田 稔 先生

Chamber

OHIO Chamber 設備の紹介

TARC

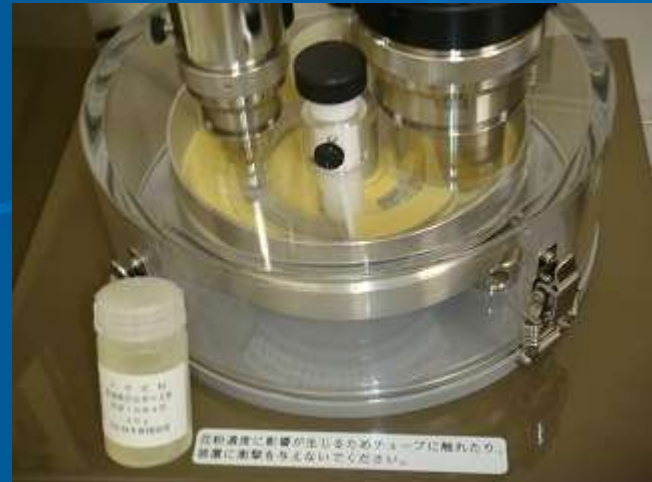
チェインボールルーム



エアシャワー



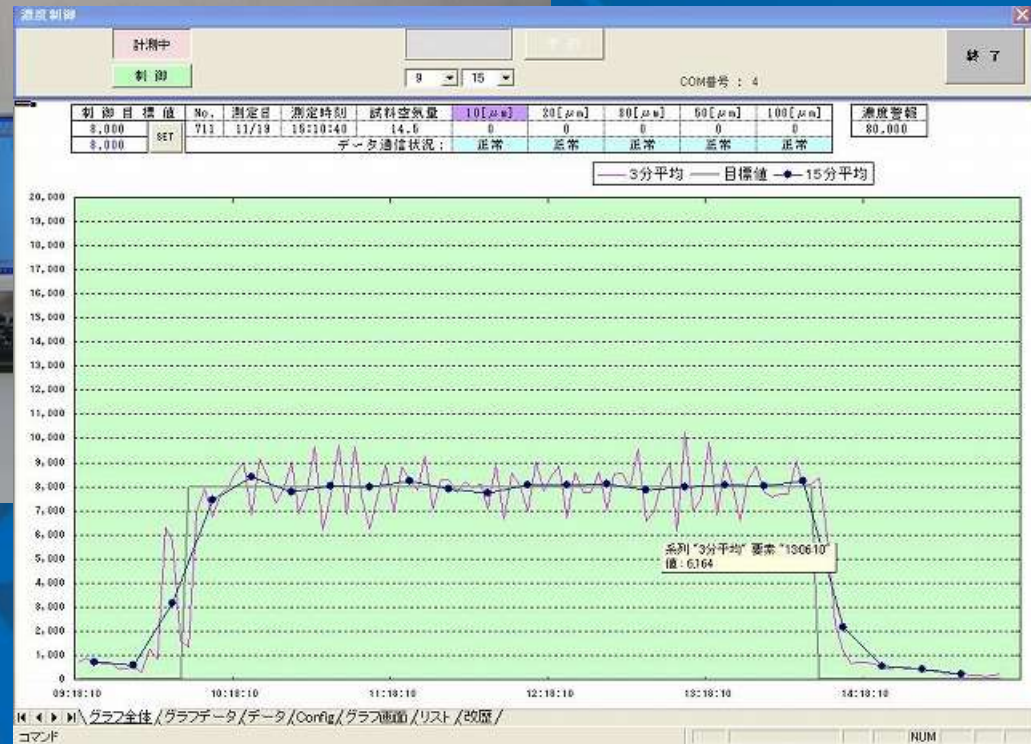
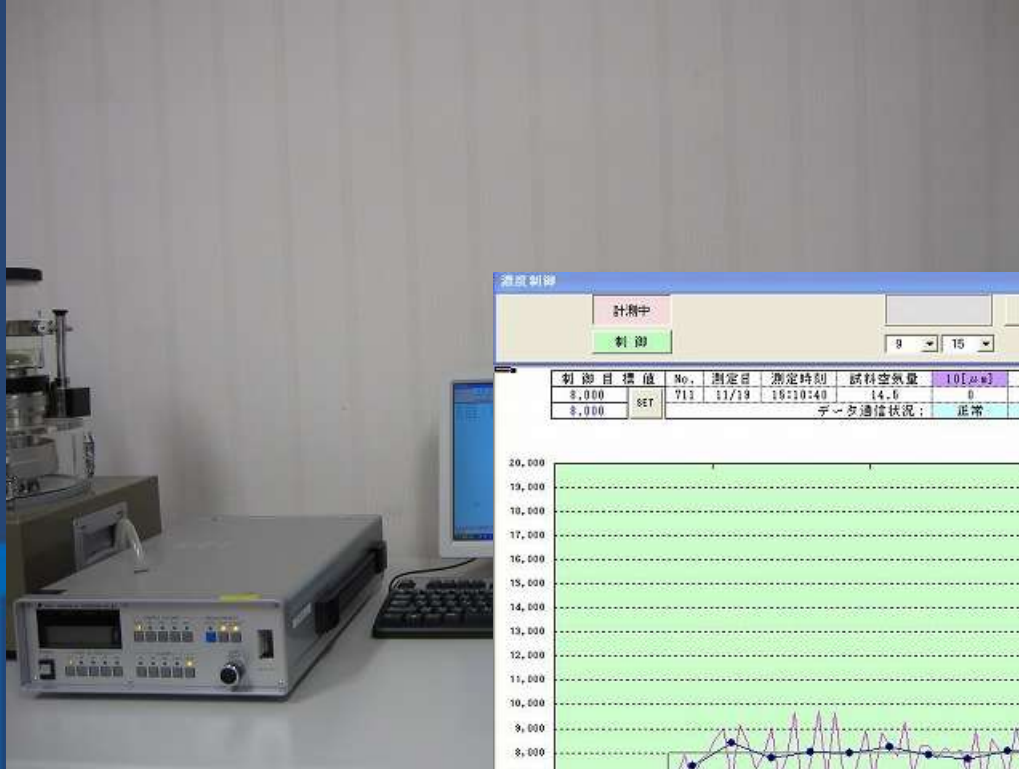
花粉供給システム(特許取得済)



オペレーションルーム



濃度監視モニター



自動洗浄・自動乾燥システム(特許取得済)



OHO Chamber

アレルギー性鼻炎等のアレルギー性患者の治療を向上させる
為に東京臨床薬理研究所グループができることは何か？

まず、その事を行うためには、多種多様な環境下でのより真
実性の高いデータが必要と考えます。

チェンバーにより集積されるデータは世界基準、したがって
アレルギー疾患領域での医薬品の治験や製造販売後臨床試験
においてデータの信憑性を飛躍的に向上させます。

それは、やがて全国3,000万人～4,000万人と予想されるア
レルギー性疾患患者に届けられる朗報の基礎になっていくも
のと考えます。



OHIO Chamber

お問い合わせは、こちらからお願いします。

<https://hanamizu.jp/contact/>